

【ヘッドホンセットをご購入の際はヘッドホンの取扱説明書とあわせて参照してください。】

取扱説明書

ワイヤレスレシーバー M-BTR1

この度はお買い求めいただき誠にありがとうございます。

安全上の注意

本製品を安全に使用していただくための注意事項です。使い方を誤ると火災や人身事故が起こることがあります。ご使用前に必ずお読みのうえ、正しく使用してください。また、いつでもすぐ読めるところに保管してください。

この取扱説明書では、使い方を誤った場合に使用する人や財産に生じる危害や損害の程度を分類して記載しています。

⚠ 危険 ：	死亡または重傷を負う可能性が高い内容
⚠ 警告 ：	死亡または重傷を負う可能性がある内容
⚠ 注意 ：	けがをしたり財産の損害が生じる可能性がある内容

🚫 ：	分解禁止	🚫 ：	行為を禁止	⚠ ：	注意を促す	👉 ：	行為を指示
------------------	------	------------------	-------	------------------	-------	------------------	-------

⚠ 危険

- 🚫 **火の中に入れてたり、加熱したりしない。低温や高温で充電・使用・放置しない。**発熱や発火、破裂の原因になります。
- 🚫 **火や暖房器具のそば、直射日光のあたるところ、炎天下の車内、高温・多湿な場所で使用・保管・放置しない。**火災の原因になることがあり、液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因にもなります。また外装ケース、製品本体、内部部品が劣化、故障する原因にもなります。
- 🚫 **端子をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といっしょに携帯または保管しない。**火災の原因になることがあります。
- 👉 **本製品は、必ず付属のUSBケーブルを使い、指定の方法で充電する。**指定以外の方法で充電すると電池の液漏れや、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 🚫 **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏みつけたりしない。**発熱、破損、発火の原因になります。
- 🚫 **落下させたり強い衝撃を与えない。**液漏れ、発熱、破壊の原因になります。

⚠ 警告

- 🚫 **USBケーブルやプラグを破損させない。**(傷つける、加工改造する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、踏む、束ねるなど)ショートによる火災の原因になります。
- 👉 **USBケーブルの端子は確実に差し込む。**差し込みが不完全な場合は、発火や感電の原因になります。
- 👉 **航空機内では航空会社の指示に従って適切に使用する。**電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 🚫 **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は使用しない。**交通事故の原因となります。
- 🚫 **踏み切り、横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わない。**事故の原因となります。
- 🚫 **異物(燃えやすい物、金属、水、液体など)を入れない。**感電、故障や火災の原因になります。液体や異物が入ったときはすぐに使用を中止し、お買い上げの正規販売店が当社カスタマーサポートに相談してください。
- 🚫 **布団などでおおった状態で使わない。**熱がこもって火災の原因になったりケースが変形することがあります。
- 🚫 **一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄しない。**火災や破裂の原因となることがあります。
- 🚫 **幼児、子供の手の届く場所に放置しない。**イヤークービスなどを誤って飲み込み窒息する原因になる恐れがあります。
- 🚫 **医療機関の屋内や医療機器の近く、さらに満員電車など混雑した場所では使用しない。**電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 警告

- 🚫 **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。**電子医療機器の動作に影響を与える可能性があります。病院、ガンリンスタンド、または自動ドアや火災報知器の近くにある場所では、本製品の電源をオフにしてください。事故の原因となります。
- 🚫 **分解や改造はしない。**感電、故障や火災の原因になります。
- 🚫 **濡れた手で触れない。**発火や感電・けがの原因になります。
- 👉 **異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用や充電を中止し、電源を切る。**お買い上げの正規販売店が当社カスタマーサポートに修理を依頼してください。

⚠ 注意

- 🚫 **接続されたBluetooth機器の音量を上げ過ぎない。**耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴力に大変わるい影響を与えてしまいます。
- 👉 **本製品が直接触れる部分の肌に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。**使用を続けるると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- 🚫 **本製品やUSBケーブルの上に重い物を載せたり、強い力を加えて外装ケースやプラグを変形させない。**内部部品が破損して火災・故障の原因になることがあります。
- 🚫 **USBケーブルが傷ついたりUSB端子の挿し込みがゆるいときは使用しない。**火災や感電の原因になります。
- 👉 **イヤークービスは耳にしっかりと取り付ける。**確実に取り付けられていないと使用中にはずれて耳に残ることがあります。その場合は耳に押し込まないよう十分に注意してください。
- ⚠ **本製品は、日本国内専用。**海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 👉 **使用したあとは必ずスイッチを切る。**スイッチの切り忘れによる電池の消耗が液漏れの原因となることがあります。
- 🚫 **ヘッドホンケーブルを巻きつけたり強く引っ張ったりするなど無理な力を加えない。**ケーブルが断線したり破損して音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

⚠ 充電式電池についての安全上の注意

本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

- 🚫 **分解したり傷つけたりしない。**液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲によるけがや失明する可能性があります。
- 🚫 **火の中に入れてたり加熱しない。低・高温で充電・使用・放置しない。**発熱や発火、破裂の原因になります。 ※正しい充電方法は裏面の5頁を参照してください。
- 👉 **【内蔵の充電式電池が液漏れした場合】**素手で液をさわらず、当社カスタマーサポートに相談してください。液が本体内部に残り故障の原因になります。また、液が目に入ったときは失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときもやけどやけがの原因になるのですぐにきれいな水で十分洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。
- 👉 **【本製品を廃棄する場合】**内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたっては、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。

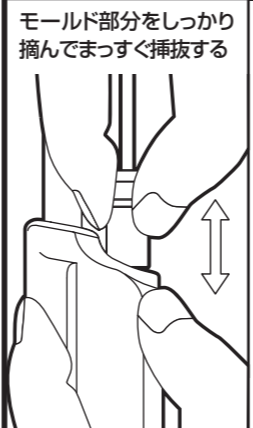
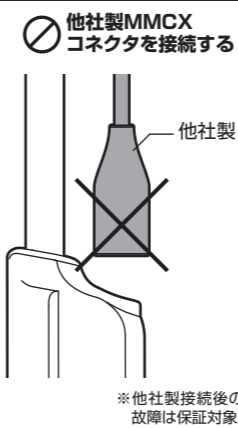
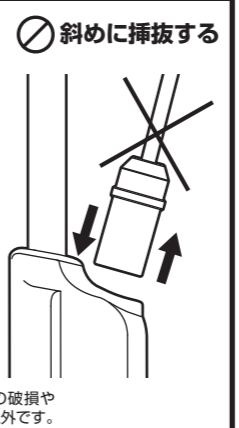
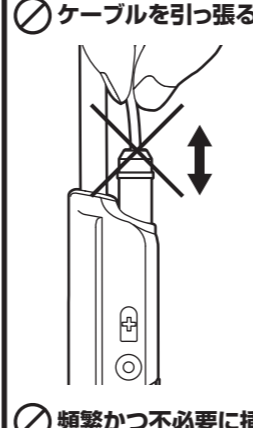
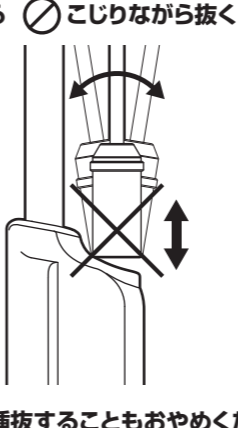
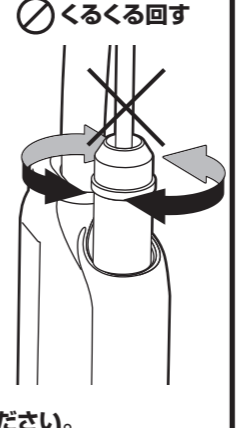
使用上の注意

- 充電式電池およびUSBケーブル
 - ・故障や異常発熱の原因となりますので、この製品には日本の法令に準拠した電源アダプターで、出力電圧がDC5Vのもののみを使用してください。
 - ・長い間使わなかった場合は、充電式電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。
 - ・長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
 - ・USBケーブルを使用しない場合は、必ず本製品からUSBケーブルを外してください。USBケーブルを接続した状態で本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとUSBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。

使用上の注意

<div> <div>【機器認定】</div> <div>本製品は日本の電波法の技術基準に適合しておりその認証番号等をバッテリーユニットの裏面に表示しています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありませんが次の行為を行うと法律で罰せられることがあります。 <ul style="list-style-type: none">●本製品を分解、改造する。 ●本製品に表示された証明番号等を消す。 </div> </div> <div> <div>【Bluetooth使用上の注意事項】</div> <div>本製品の使用周波数帯(2.4GHz)では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、免許を要するアマチュア無線局等が運用されています。 <ul style="list-style-type: none">●本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。 ●万一、本製品と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるかまたは運用(電波の発生)を停止してください。 </div> </div>

- ・本製品の距離通信は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって有効な通信距離が変動します。
- ・2.4GHz帯を使用する無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯を使用するため、無線LAN機器の近辺で使用すると取付けた対応ヘッドホンに音途切れやノイズが発生したり接続できなくなることがあります。
- ・多くの電波が飛び交う場所では通信に障害が発生することがありますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので本製品の不具合ではありません。
- ・動画視聴時などに取付けた対応ヘッドホン側での音声がわずかに遅れますが、Bluetooth無線技術の特性によるもので不具合ではありません。
- ・本製品はすべてのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。Bluetooth標準規格に適合していても特性や仕様によっては、本機と接続できない場合や動作が異なる場合があります。
- ・音楽再生中に音が途切れやすい場合は、送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更やワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することで改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご参照ください。
- ・本製品は通常の電話着信にのみ対応し、スマートフォンやパソコン用の通話アプリには対応していません。
- ・本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ・テレビやラジオのアンテナ付近で使用するとテレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。

重要	本製品に採用のMMCXは精度の高い非常に精密なコネクタです。さらに簡単に外れることを防ぐためにハードにセッティングされたゼロオリジナルスペックです。(当社製品以外のMMCXコネクタとの嵌合保証はございません。)長くお使いいただくために下記ご参照の上、大切にお取り扱いください。	
○ 正しい挿抜方法	✕ 間違った挿抜方法 NG	
<div> <div>モールド部分をしっかりと摘んでまっすぐ挿抜する</div>  </div>	<div> <div>🚫 他社製MMCXコネクタを接続する</div>  </div> <div> <div>🚫 斜めに挿抜する</div>  </div> <p>※他社製接続後の破損や故障は保証対象外です。</p>	
🚫 ケーブルを引っ張る	🚫 こじりながら抜く	🚫 くるくる回す
		
🚫 頻繁かつ不必要に挿抜することもおやめください。		

お手入れ方法

- ・本製品およびヘッドホン本体は乾いた布で、ヘッドホンのノズルフィルターは乾いた布や綿棒でクリーニングしてください。
- ・その他の薬品や殺虫剤を使用しないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

故障かな?と思ったら

- 電源が入らない、充電できない。
 - ・付属のUSBケーブルを使用し、確実に接続して充電してください。
- ペアリングできない。
 - ・相手機器などを1m以内に近づけて再度ペアリングしてください。
 - ・LEDランプが青/白交互に点滅するまで本製品のMFBボタンを離さないでください。
- 接続後すぐに動作しない。
 - ・相手機器によってはすぐに動作しない場合があります。少し間をあけてから改めて操作してください。
- 音が途切れる、動作反応が良くない、ノイズが発生する。
 - ・2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN機器、自動ドア、コードレス電話機など)を本製品から離してください。
 - ・相手機器のWi-Fiの電波が障害になることがあります。相手機器の設定のWi-Fiをオフにしてください。
 - ・相手機器との間に電波を遮ってしまう物体、壁などがある場合、音が途切れたり、動作や反応がわるくなる場合があります。
 - ・人体も電波を遮ります。本製品や相手機器を手や体で覆ったり、間を遮らないように注意してください。
 - ・スマートフォンなどで複数のアプリが起動している場合は使用していないアプリを終了してください。
 - ・本製品の電源を入れて相手機器と接続中、または相手機器の電源を入れてしばらくの間は再生時に音が途切れることがあります。
- 本製品の動作がおかしい。
 - ・本製品の電源を切り、再度電源を入れて接続してください。それでも改善されない場合には工場出荷時の状態に戻してください(裏面ご参照)。
- 音質に違和感がある、または音質が小さい。
 - ・ご自身に最適なサイズのイヤークービスに変更して両方の耳に確実に装着してください。
 - ・本製品または相手機器の音量を上げてください。
 - ・ヘッドホンのイヤークービス内部やノズルフィルターに汚れが付着していないか確認してください。
- 音が歪む。
 - ・本製品または相手機器の音量を下げてください。

主な仕様

<div> <div>内蔵マイク</div> <div>通信方式</div> <div>出力</div> <div>最大通信距離</div> <div>使用周波数帯域</div> <div>対応Bluetoothプロファイル</div> <div>対応コーデック</div> </div>	<div> <div>全指向性MEMSマイク</div> <div>Bluetooth®標準規格Ver.5.0準拠</div> <div>Bluetooth®標準規格Power Class2</div> <div>見通しの良い状態で10m以内</div> <div>2.4GHz帯</div> <div>A2DP、AVRCP、HFP、HSP</div> <div>Qualcomm® aptX™ Low Latency audio、Qualcomm® aptX™ audio、SBC、AAC</div> <div>SCMS-T方式</div> <div>20～20,000Hz</div> <div>USBケーブル、キャリングバッグ</div> <div>DC3.7V リチウムイオン電池(内蔵式)</div> <div>約17.5g</div> <div>5℃～40℃</div> <div>連続通信(音楽再生時)：最大約8時間</div> <div>最大約150時間 ※使用条件により異なります。</div> <div>約2時間</div> <div>10℃～35℃</div> </div>
--	--

- 対応コーデック
 - 本製品はQualcomm® aptX™ audio/AAC/SBCの3種類のコーデックに対応しています。ペアリングの際にBluetooth機器により自動的にaptX/AAC/SBCコーデックのいずれかが選択されます。(対応するBluetoothプロファイル：A2DP/AVRCP)

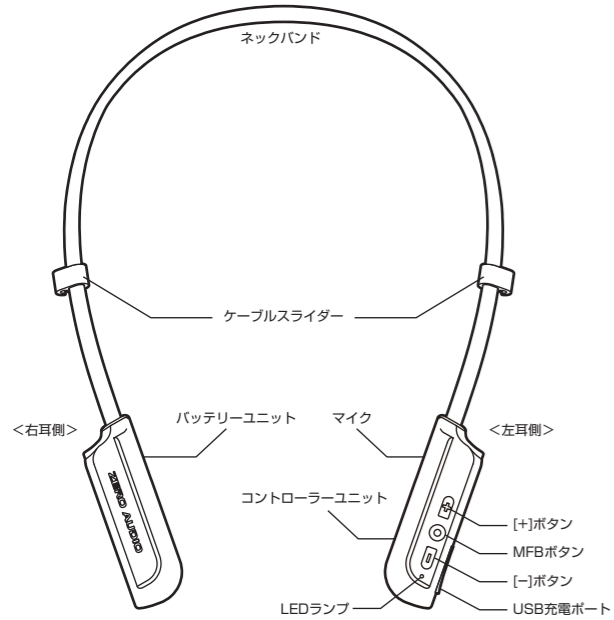
その他

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、協和ハーモネット株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。Qualcomm aptX は、Qualcomm Technologies ,Inc.またはその子会社の製品です。Qualcommは米国および他の国々で登録されたQualcom Incorporatedの商標です。aptXは米国および他の国々で登録されたQualcomm Technologies International, Ltd.の商標で、許可を受けて使用しています。その他記載した商標は各社の登録商標です。

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by KYOWA HARMONET LTD. is under license. Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



※本製品に対応のヘッドホン(別売)については当社ホームページを参照してください。

使い方

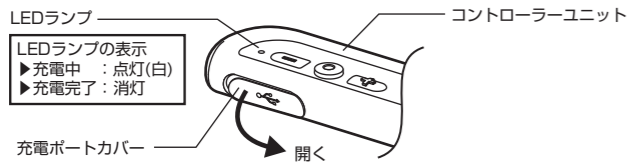
ご使用前に裏面の内容を必ずお読みのうえ、正しく安全に使用してください。

1.充電する

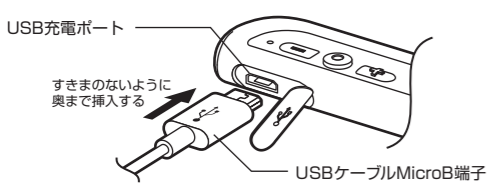
【必ずお読みください】

- 本製品をはじめてご使用になる場合は充電を行ってください。(出荷時には検査のためにわずかに充電されていますが容量は充分ではありません。)
- 必ず付属のUSBケーブルをお使いのうえ、起動中のパソコン、もしくはUSB ACアダプターに接続して充電してください。
- 故障や異常発熱の原因となりますので、USB ACアダプターは必ずPSEマークのついた出力電圧がDC5Vの市販製品を使用してください。
- 充電中はBluetoothの接続が切れますので使用することはできません。
- パソコンがスタンバイ(スリープ)や休止状態になると充電ができなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して充電し直してください。
- 10℃～35℃の環境で充電してください。低温/高温の環境下で充電すると液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

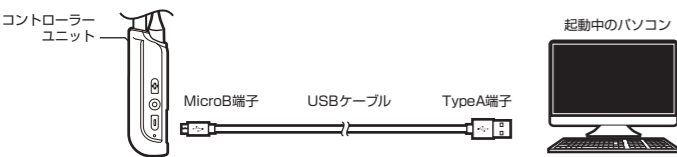
- ①コントローラーユニットの充電ポートカバーを開きます。



- ②付属のUSBケーブル(MicroB端子側)をUSB充電ポートにしっかりと接続します。



- ③USBケーブル(TypeA端子側)を起動中のパソコンもしくはUSB ACアダプター(DC5V)の市販品のUSBポートに接続して充電を開始します。約2時間で充電が完了します。



- ④LEDランプが消灯し充電が終了したらUSBケーブルを取り外します。

- ⑤充電ポートのカバーをしっかりと閉めます。
※本製品は防滴構造ではありませんのですきまがあると汗や水分が入り故障の原因になります。

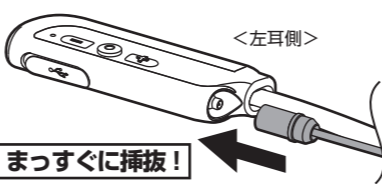
【充電のめやす】

電池残量が残り少なくなると「BATTERY LOW/バッテリーロー」とメッセージが流れます。複数回のメッセージのあと自動的に本製品の電源が切れますので速やかに充電してください。

2.ヘッドホンを取り付ける

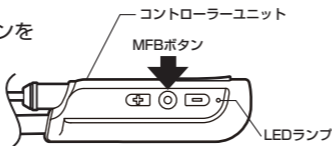
- ①MMC Xは非常に精密かつ繊細なコネクタです。最初に裏面3頁の注意事項をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
- ②M-DOCKシステム対応のヘッドホン(別売)のL/左耳側を図の通りコントローラーユニットのMMC Xポートにしっかりと取り付けます。
- ③同じ要領でR/右耳側をバッテリーユニットに取り付けます。

注意 こじらず、回さず、まっすぐに挿抜!



3.電源を入れる/切る

- 電源を入れる
LEDランプが白に点灯するまでMFBボタンを約3秒長押しします。
- 電源を切る
LEDランプが白に点灯し、消灯するまでMFBボタンを約3秒長押しします。



4.Bluetooth®機器に接続する

ペアリング/Bluetooth機器に登録する [初めて接続する場合]

- ①接続する相手側のBluetooth機器を本製品から1m以内に近づけます。
- ②Bluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth設定をオンにします。
- ③本製品の電源が切れた状態でLEDランプが青/白交互に点滅するまでMFBボタンを長押しします(約5秒間)。
本製品ご購入後最初に使用する際には電源を入れると自動的にペアリングモードになります。
- ④Bluetooth機器の表示リストから「ZERO AUDIO M-BTR 1」を選択します。(機器によってはパスキーを要求される場合があります。その場合は「0000」を入力してください。)
- ⑤ペアリングが完了すると青いLEDランプが短く連続して2回点滅します(約4秒間隔)。機器によっては接続方法や設定画面が異なりますのでその機器の取扱説明書も参照してください。

本製品とBluetooth機器を一度ペアリングをすれば再びペアリングする必要はありません。ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

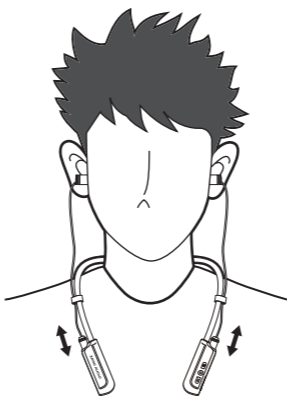
- ・Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- ・9台以上をペアリングした場合
- ・工場出荷設定に戻した場合

Bluetooth接続/ペアリングを解除する

本製品とBluetooth機器の接続中に＋/－ボタンを同時に長押し(約5秒間)すると接続(ペアリング)が解除され再びペアリングモードになります。その際、他のBluetooth機器が近くにあると「ペアリング」の手順に沿ってペアリング、もしくはBluetooth接続が可能になります。

5.装着する

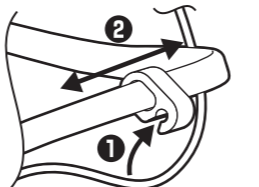
- ①コントローラーユニットが左側になるようにネックバンドを装着します。
- ②相手側の機器の音量を最小にします。
- ③ケーブルスライダーを調整します。(詳細は下記参照)
- ④ヘッドホンを耳に装着します。
- ⑤機器を再生し、音量を調節してください。



6.ケーブルスライダーを調整する

ケーブルスライダーを利用することで最適なポジションにケーブルを固定できタッチノイズも軽減することができます。お好みによりスライダーの位置とコードの長さを調整してください。

- ①ケーブルをケーブルスライダーの穴に挿し込みます。その際にはケーブルを傷つけないように注意してください。
- ②ケーブルスライダーを最適なポジションにスライドさせてください。



7.通話する

- Bluetooth機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話することができます。(対応するBluetoothプロファイル：HSP/HFP)
- Bluetooth機器が着信すると本製品から着信音が鳴り、着信中はLEDランプが青色に点滅します。

■操作方法

- 電話をかける : 通話機能が搭載されたBluetooth機器から発信してください。
- 電話を受ける : MFBボタンを押す
- 電話を終了する: MFBボタンを押す
- 着信拒否をする: MFBボタンを約1秒長押し

- ・音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。
- ・通話を終了すると音楽再生が再開します。
- ・通話時の音量と音楽再生時の音量は連動せず、それぞれ別々に調整されます。

パソコンと接続する

パソコンとのBluetooth接続については、パソコンでの設定が必要となります。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照してください。

8.音楽を聴く

■操作方法

- 再生/一時停止 : MFBボタンを押す
- 音量調節 : [+]/[-]ボタンを押す
- 次の曲の頭出し : [+]ボタン長押し
- 現在の(またはその前の)曲の頭出し : [-]ボタン長押し

- ・最大の段階まで音量[+]ボタンを押すと電子音が鳴ります。
- ・一時停止中に本製品の操作で音量調節や曲の頭出しはできません。
- ・Bluetooth機器によっては上記操作によって異なる動作をしたり、一部の機能が動作をしない場合があります。
- ・再生開始時、一部のBluetooth機器によってはボリューム設定が大きな状態で始まる場合があります。本製品の[-]ボタンや機器のボリュームコントローラーを使い最適な音量に調節して使用してください。

9.音声アシスタントを起動する

- 音声アシスタントに対応したBluetooth機器の設定で音声アシスタントを有効にします。
- 本製品と接続している状態でMFBボタンを2回押すと音声アシスタントが起動し起動音が聞こえますので音声で入力してください。
- その他詳しくはBluetooth機器の説明書を参照してください。
- ・Bluetooth機器の設定で音声アシスタントを有効にしても本製品のマイクからの音声で起動することはできません。
- ・起動した後音声入力を行わないで一定時間が経過すると音声アシスタントが解除されます。
- ・Bluetooth機器によっては上記操作によって異なる動作をしたり、一部の機能が動作をしない場合があります。

その他の機能

オート機能

■オートパワーオフ

本製品の電源が入った状態で、約5分間Bluetooth機器と接続しない状態が続くと自動的に電源が切れます。

■オートサーチモード

通信圏外に移動して接続が切れた場合、本製品は自動的にオートサーチモードになり、通信圏内に戻れば自動的に再接続します。約6分間接続しない状態が続くと自動的に電源が切れます。

工場出荷設定に戻す

充電中に[+]ボタンと[-]ボタンを約5秒間押し続けます。工場出荷時の設定に戻ってすべての機器登録(ペアリング)情報が削除されます。

※本製品とBluetooth機器とを再ペアリング(再接続)するには、Bluetooth機器の接続履歴から本製品の登録をいったん解除する必要がありますのでご注意ください。その後は左記「4. Bluetooth®機器に接続する」の手順に沿ってペアリング、Bluetooth接続が可能になります。

保証書

※ご使用前に必ずお読みください。

品質保証規定

お客様の正常なご使用下での故障について無償修理、または製品交換します。ご依頼の際は、必要事項記入済みの本保証書と当社正規販売店の購入証明を添え、製品本体を(ご購入時のパッケージがあればその中に収納して)下記住所宛にお送りいただくか当社正規販売店の購入窓口へご持参のうえ修理をご依頼ください。ただし保証期間中でも下記に該当する場合は対象外となりますのでご了承ください。

- 1)本保証書に当社正規販売店の捺印またはご購入時のシートのご提示がない場合
- 2)本保証書内所定欄の記載不備、あるいは字句の訂正がある場合
- 3)天災・火災などに起因する故障や損傷の場合
- 4)お買い上げ後の輸送、運搬上の故障や損傷の場合
- 5)誤ったご使用方法(本取扱説明書の注意事項に反したお取り扱いを含む)による故障や外部圧力による故障や損傷の場合
- 6)当社以外で修理や改造をされた場合
- 7)接続された機器等の不具合や、取り付けた他社製品によって本製品に故障や損傷が発生した場合
- 8)お手入れの不足、または誤ったお手入れ方法によって本製品に故障や損傷が発生した場合

<その他規定事項>

- a)保証対象は本製品の本体のみです。付属品や消耗品(ポーチ)は対象外です。さらにバッテリーの劣化も対象外です。
- b)製品をお送りいただく際には、当社にて保証対象箇所の特定診断を行う必要がありますので分解などせずに必ず完全な状態でお送りください。
- c)製品の品質には万全を期しておりますが、本製品の不具合により生じた他の製品の損傷やトラブル及びその他一切の損害につきましては保証できませんのであらかじめご了承ください。
- d)本保証書の有効期限は当社正規販売店の記入する購入年月日を起算日とします。購入年月日の記入がない場合には無効となりますのでご了承ください。
- e)本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。
- f)本保証書の記載内容によりお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
- g)本保証書は日本国内でご使用になる場合に限り有効です。
- h)保証期間内であっても検査のために製品をお送りいただく場合には、送料をご負担いただくこととなりますのでご了承ください。また、輸送中の製品に損傷事故がないようクッション材で保護して下記住所宛にお送りください。
- i)保証期間経過後は、当社下記ホームページの修理申し込みにて承ります。

<https://qa.zeroaudio.jp/repair>

This warranty is valid only in Japan.

